



多くのクリエイターが寄稿する人気フリーペーパー『dictionary』にて、
ARAPPLI(アラプリ)を使用した、ARコンテンツが採用。
クリエイティブ集団・エンライトメントによる、アートワークがARマーカース上に出現。

4月10日、アララ株式会社(東京都港区・代表取締役社長 岩井陽介)が開発したスマートフォン向けARアプリケーション“ARAPPLI”を活用したARコンテンツがフリーペーパー『dictionary』の139号に採用されました。

『dictionary』は桑原茂一氏が代表を務めるクラブキング創刊で、「未来を明るくするための知恵を満載した『辞書(dictionary)』でありたい」をテーマにしたフリーペーパーです。今月の『dictionary』にはQRコードが掲載され、アラプリを起動したスマートフォンでQRコードを読み込むと、日本のアートシーンを牽引するエンライトメントのアートワークがARマーカース上に表現されます。QRコードの種類は2種類あり、読者様の好みに合わせて変えることができます。

アラプリは、昨今話題となっている最先端技術AR(Augmented Reality/拡張現実)を活用したスマートフォンアプリです。

スマートフォンユーザーは、このアラプリをダウンロード後、独自に発行されたQRARマークをスマートフォンでかざすだけで様々なARコンテンツを楽しむことができます。

dictionaryとは

1988年にクラブキングから創刊されているフリーペーパーです。毎号、個人が自由に表現する誌面上のサロンとして、多くのクリエイターが参加し、世代や地域、ジャンルを問わず、幅広く読まれています。

エンライトメントとは

ヒロ杉山、鈴木シゲル、山口要からなるアーティストユニット。ファインアートの世界で国内外の展覧会で作品を発表する一方、フリーペーパーやCDジャケットなどでも独創的なグラフィックを発表し続けています。映像分野での評価も高く、近年では立体作品から空間演出も手掛け、ジャンルにとらわれない創作活動を展開している。



dictionary139号表紙と、ARマーカースが掲載された裏表紙

エンライトメント

AR(Augmented Reality)とは

日本語訳は「拡張現実(感)」

目の前にあるリアルな世界に、本来そこにはないバーチャルなモノや情報を重ね合わせる技術やその映像のことを言う。中でもARAPPLI(アプリ)の採用するARは、ビジョンベース型ARと呼ばれ、カメラを通して現実存在する対象物の上にバーチャルな画像を重ね合わせるもの。

ARAPPLI(アプリ)とは

QRARマークをトリガーにして、動画・3DCG・アニメーション等リッチなARコンテンツをダウンロード、ひとつのアプリで無限にARコンテンツを展開できる、ビジョンベース型ARプラットフォームサービスです。iPhone、Androidアプリとして無料提供しています。

ARAPPLI(アプリ)の使い方

- ① iPhone「App Store」、Android「Androidマーケット」から、ARAPPLI(アプリ)をダウンロードします。
- ② アプリを起動し、QRARマークを撮影すると、ARコンテンツがダウンロードされます。
- ③ 黒枠に、カメラをかざすと、ARコンテンツが出現します。
- ④ 一度ダウンロードしたARコンテンツは、コレクションフォルダに保存されるので、ダブルタップで出現し、ピンチイン/ピンチアウトで大きさを変えられます。

① アプリ アイコン



② QRARマーク(サンプル)



QRAR

③ ARコンテンツ再生



※写真はイメージです

【アララ株式会社】

2010年10月設立。AR(拡張現実)技術を活用できるプラットフォームを独自開発・提供する会社。2010年12月にQRコードで簡単にARを実現するスマートフォン向けアプリ「ARAPPLI」を発表。株式会社レピカ100%子会社。

<http://www.arara.co.jp/>

ARコンテンツ企画・制作 DHE株式会社、アララ株式会社

【本リリースに関するお問い合わせ】

アララ株式会社 TEL03-6692-1006 担当:鹿取

E-Mail katori@arara.co.jp

※ iPhoneは、Apple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

※ Androidは、Google Inc.の商標です。

※ 「アプリ」はiOS4.1以上のiPhone・iPod touch、Android 2.2以上(推奨)の端末専用となります。